



令和6年度  
9月号  
通巻846号

愛媛県立松山東高等学校通信制課程  
〒790-8521 松山市持田町二丁目2番12号  
TEL 089(945)0131・089(945)0177  
<https://matsuyamahigashi-h-c.esnet.ed.jp>  
印刷所 株式会社 松栄印刷所



## 8・9月の行事予定

S:スクーリング X:レポート提出不可  
◇:通信制教員不在(レポート提出可能)

	29	木	友垣通信9月号・レポート発送	
8月	30	金		
	31	土		X
	1	日	定通制総体	X
	2	月		◇
	3	火	HR活動(パネル下書き)	
	4	水		
	5	木		
	6	金		◇
	7	土		X
	8	日	前期特別試験・再試験対策講座	
	9	月		
	10	火		
	11	水		
	12	木	再試験対策講座	
	13	金		◇
9月	14	土		X
	15	日	前期再試験・HR活動(パネル色塗り) 同窓会総会	
	16	月	敬老の日	X
	17	火		
	18	水		
	19	木		
	20	金		
月	21	土		X
	22	日	秋分の日	X
	23	月	振替休日	X
	24	火		
	25	水		◇
	26	木	友垣通信10月号・レポート発送	
	27	金		
	28	土		X
	29	日		X
	30	月	前期卒業式	

## 運動会パネル絵制作を行います!

運動会では、3つの講座がそれぞれ「パネル絵」を制作して飾ります。

パネル絵制作を9月3日(火)HR活動13:40~と9月15日(日)HR活動13:00~に実施します。

絵を描くのが好きな人、あまり得意ではないけれど協力したいという気持ちのある人は、是非参加してください。

日時 9月3日(火) HR活動13:40~(特活1時間)

9月15日(日) HR活動13:00~(特活1時間)

場所 312・313教室・通教ルーム

(ホワイトボードに詳細を貼っておきます。)

\*作業がしやすい、汚れてもいい服装で参加してください。



体育 1



体育 2



体育 3

「リフレーミング」とは、あるできごとや物事を、今見方とは違った見方をすることで、それらの意味を変化させて、気分や感情を変えることです。気持ちがスッキリ軽くなったり前向きに考えたりすることができるようになります。

例えば、「試合で失敗した」→「次に生かすために良い経験をした」。「テストまで3日しかないからあきらめよう」→「テストまで3日あるから、できることをしよう。」

物事を様々な角度から考えることができる人ほど、心の健康度が良いことが分かっています。愚痴や心のモヤモヤを相談室で気軽に話してみませんか?(電話相談可)

## 【9月スクールライフアドバイザー相談日】

8(日)、10(火)、15(日) 10:00~16:00

## 運動会に参加しよう!

♪ Let's sports Day ♪

1日 時 令和6年10月20日(日)

時 間 帯	内 容	特別活動時間数
9:20~10:15	集合・準備	
10:15~11:50	開会式・競技(午前)	特別活動3時間
11:50~12:40	昼食	
12:40~14:20	集合・競技(午後)	
14:20~15:05	閉会式・後片付け・HR	特別活動3時間

※午前、午後とも途中参加はできません。

※1日参加した者は、特別活動6時間の中の2時間を、体育に振り替えることができます。(6時間出席し、競技に参加した場合)

2場所 体育館



3 プログラム(変更する場合もあります)

午前の部	午後の部
1 ラジオ体操	8 イレロ
2 徒競走	9 玉入れ
3 グルグルタイフーン	10 友垣の輪
4 出た目で勝負	11 ちょっと拝借
5 破裂の刃	12 みんなでジャンプ
6 綱引き	13 通教リレー
7 スイカゲーム	14 整理運動
*パネル紹介(各年次ごと)	



令和6年度

7月  
28日

## 生徒生活体験発表大会が行われました

### 発表題目と発表者

1 「失敗」から「きっかけ」に	2年次 四宮 天寧
2 6年目の翼	3年次 小西千莉子
3 脱出マニュアルの御提案	3年次 吉岡 海翔
4 ひらく	3年次 十川みなみ
5 私を変えた出来事	3年次 寺本 春香
6 自分と向き合って	3年次 友澤 里奈
7 本当に大切にしたいこと	2年次 藤本 歩奈
8 やり残したこと —過去に置いてきた忘れ物—	1年次 大澤 智志

「生徒生活体験発表大会」は、通信制に入学するまでの体験、入学して感じたこと、経験したこと、そして変わったこと、成長したこと、見つけた夢や目標を自分の言葉で表現する大会です。みんなの前で堂々と発表できたことは、大きな自信になったと思います。聴いていた友垣も、惜しみなく拍手を送り、たくさんの感想を寄せてくださいました。発表者の皆さん本当にありがとうございました。

一年次  
大澤 智志



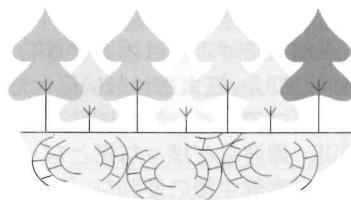
## 優秀賞

藤本歩奈 大澤智志

## 努力賞

四宮天寧 小西千莉子 吉岡海翔  
十川みなみ 寺本春香 友澤里奈

賞



## 発表した友垣の感想

○1年次の頃、発表を聞く側で参加し、今回、3年次生で発表する側として参加しました。とても緊張する中、同じ発表者の友垣と話しながら本番を迎える、無事、発表を終えました。自分の過去を思い出すことは辛かったけれど、友垣や先生方の前で、自分の気持ちを伝えることができ、とても良い経験をさせていただいたと思います。この経験を、この先の自分の力にしたいです。

## 参加した友垣の感想

○一度挫折したり、心に深い傷を負ったりした人間でも、自分の望む自分になれる可能性がある通信制は、とても良い環境だと思いました。私も可能性を無駄にしないよう頑張りたいです。

○8名の発表者から、体験し、成長したことを聞きました。共感できた部分や、私には体験したことのないような物語もあり、とても学ぶところがありました。過去を振り返ってそれを糧とし、成長している皆さんをすごくかっこいいと思いました。

○様々な友垣の、リアルな体験を聞くことができ、とても元気づけられ、すばらしい学びの機会となりました。自分のこれからを見直すきっかけとしていきたいと思います。また、昨年度の発表動画鑑賞では、様々な事情や困難を抱える人でも、通信制で学んでいくことができると改めてわかり、このような学びの場は社会にとって大切であると感じられました。この大会に参加してとてもよかったです。



審査の結果、選出大会への学校代表者に以下の方々が選ばれました。

## ■藤本歩奈さん

「四国地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会」に学校代表として応募します。

## ■大澤智志さん

「第62回愛媛県高等学校定時制通信制中予地区生徒生活体験発表大会」に学校代表として出場します。

日時 9月18日(水) 18:00~

場所 松山商業高等学校 体育館

藤本さん、大澤さん頑張ってください。



## 協力校ホームルーム活動 7月14日(日)

### (新居浜西高校) 「防災について」

災害を未然に防ぐことは困難ですね、だから「防災」は被害を最小限に抑え、拡大させないことが主な目的になります。災害は一つだけでなく、例えば地震が発生すると、倒壊、地滑り、火災、津波など様々な形となって襲ってきます。

今回は、災害発生後に便利な「防災グッズ」の説明を行いました。沢山のグッズがネットなどで紹介されていますが、持ち出せる物には限りがあります。袋やカバンの容量を考え、自分に必要な物が何かは、普段から考えておく必要があります。容量や重量はできるだけ抑えることは分かると思いますが、実際に自分でカバンに詰めると、その難しさが分かります。登山や徒步キャンプを趣味にしている方は慣れていると思いますが、そうでない方は、是非自分でやってみることをお勧めします。

#### 例) 低体温症を防ぐもの

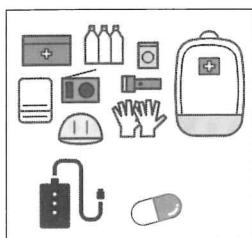
水の確保・運搬に必要なもの

携帯トイレとその使い方

衛生を保つもの

スマホ関係グッズ

ライト など



災害、遭難での死亡率が高いのは、低体温症です。食糧も大切ですが、いろいろな知識が身を守るために必要ですね。

### (宇和島東) 「ペーパータワーゲーム」に挑戦!!

チーム対抗：3人×2チーム（参加者6名）、  
先生チーム（3人）

制限時間：5分

使用道具：新聞紙6枚、セロテープ、ハサミ

#### (参加生徒の感想)

○新聞紙でタワーをつくり高さを競うゲームで、少人数ではありましたでしたがチームで協力してタワーをつくることができました。残念ながら1位をとることはできませんでしたが、1回目に比べて2回目のほうがチームワークもよくなり、タワーも高くつくることができました。

○最初はうまく話せなかっただけれど、だんだん意見が出るようになつたし、それに自然と役割ができる、チームプレイができました。会ったことがない人とも仲良くできるのがホームルーム活動のよいところだと思いました。先生とも楽しくできてよかったです。



## 「誰かのことじゃない」

## ～「デートDV」～

人権教育主任より

みなさんは、「デートDV」ということばを聞いたことがありますか？

これは、配偶者間で、あるいは交際中の異性の間で発生する問題です。電話にすぐ応答しなかったら責められる。メッセージの履歴をチェックされたり、金銭を要求されたり。あげくに暴力をふるわれる。これらはすべて「デートDV」となります。「DV」と「けんか」は違います。夫婦けんかなどは、対等な立場で意見をぶつけあうのですが、DVは、一方が常に優位な立場に立ち、様々な暴力を手段として、相手を支配することになります。対等な関係ではない、というところが、けんかとは大きく異なります。2020年に警察機関に寄せられたDVについての相談は8万2,000件以上に及ぶそうです。

もしあなたが「デートDV」を受けたら、また仲の良い友達がそうなってしまったら、どうしたらいいでしょう。まず、どのような理由があっても暴言や暴力は絶対に許されません。「自分が悪いのだから、叩かれてもしかたがない。」そんなふうに考えることはないのです。さらに、たとえ好きな相手であれ、自分らしさを失わない、いやなことははつきりといやという、強さが大切です。

DVを防ぐ手立て、それはお互いの信頼と尊重以外にはありません。相手とのやりとりの中で、自分の意志を伝えるとき、「YOU（ユー）メッセージ」ではなく、「I（アイ）メッセージ」を使ってはどうでしょう。「あなたは〇〇しないといけない。」「君はすぐに口口し

なさい。」という、相手に命令したり強制したりする「YOUメッセージ」ではなく、「あなたが〇〇してくれたら、私はとても助かるよ。」「君が口口してくれたら、私はすごくうれしい。」というように自分の気持ちを伝える「Iメッセージ」で相手に呼び掛けると、お互いの信頼を損なうことなく意見を言い合えるのではないかでしょうか。これは交際中の男女だけでなく、家族の間で、また友達同士の間でも有効な手立てではないかと思います。

大切なのは、こうした人権侵害を、自分には関係ないことと思わないことです。マザーテレサは、「『愛』の反対のことばは、『憎しみ』ではなく、『無関心』です。」と言いました。たとえ自分がDVを受けなくても、家族が巻き込まれるかもしれません。明日、友達から「デートDV」の相談を受けるかもしれません。人権侵害は、遠いところで「誰か」が体験した問題ではないのです。「デートDV」やその他の人権問題を、決して他人事とは思わず、自分や身近な人の上にも起こりうる問題だと捉え、真摯に向き合って考える。それこそが誰もが輝ける住みやすい社会を作る第一歩ではないかと思うのです。

